

# ～新病院事業管理者長 および 病院長よりごあいさつ～

## 病院事業管理者就任のごあいさつ

小国公立病院組合 病院事業管理者  
片岡 恵一郎

令和3年4月より病院事業管理者に就任いたしました。

小国公立病院組合としては、新設の職であり、聞き慣れない役職名かもしれませんが、おぐに老人保健施設の施設長も私が兼ねる事になり、小国町と南小国町からなる小国公立病院組合の医療・介護事業を俯瞰的に管理する役割となります。

事業管理者と病院長が一つの院長室をシェアし運営する新体制がスタートし、約2ヶ月が経過しましたが、コロナ禍でボリュームアップした有事の雑務量を考えると、2人体制での運営が功を奏していると考えています。

5月24日現在、熊本はまん延防止対策措置中ですが、小国郷でも新型コロナワクチンの接種が始まり、本格的にコロナ禍を乗り越える為の対策が進んでいっています。

コロナ禍を乗り越えた後の世界は、きっとこれまでとは異なった世界に変化しているはずで、私がポストコロナで重要と思っているキーワードが2つあります。

「多様性の受容」と「持続可能性」です。



この2つは以前から重要な概念でしたが、コロナ禍によりグローバルな視点でもローカルな視点でも急速にその重要性を増しています。

近年の医学の進歩で、我々は人類史上最高の平均寿命を獲得し、その目指してきた世界、つまり高齢化社会に到達することに成功しました。長寿社会を手に入れた日本人が次なる価値として考えるべきは「多様性」だと考えます。ひとりひとりの多様な個性と価値観、そして子供からお年寄りまで、人生のステージに合わせたオーダーメイドの医療やケアを持続可能な形で提供できる時代が、すぐそこまで来ています。

豊かさのない世界では、地方の切り捨てと個人の切り捨ては同じ文脈で行われます。勝ち負けを争い、勝ち組だけが生き残っていく社会ではなく、誰一人取り残さない豊かな社会を、次世代の為に構築していく義務が僕らの世代には課されています。その為には持続可能な形での多様性の受容は不可欠であり、その中で医療とケアの占める位置づけは小さなものではないと考えています。

成熟により豊かさや価値の定義が変容していく世の中で、町の生活の中に医療・介護の溶け込ませ、真に豊かな地域を構築していく為に、病院事業管理者の職が当院に新設さ

当院は、小国町と南小国町で設立されている公立病院です。老人保健施設と訪問看護ステーションも併設しており、外来から在宅診療まで行っています。救急告示病院であり救急車も、365日24時間受け入れています。専門的な治療が必要な場合は、適切な病院へ搬送することもあります。



病院長就任のごあいさつ  
小国公立病院 院長 堀江 英親

この度、令和3年4月より病院長に就任いたしました。よろしくお願ひします。皆様には、常日頃より、小国公立病院へのご理解とご支援を賜り、お礼申し上げます。

ワクチンに関して不安な方もいらっしゃるようですが、世界ですでにたくさんの方が接種を受けており、安全性は高いと思われれます。発熱、痛みなどの副反応はありますが、感染した場合のことを考えると、自分の機会が来たら、接種を受けられますようにお勧めします。



次代を担う医師の研修も行っておりますので、若い医師や学生に遭遇するかもしれませんが、よろしくお願ひします。また、予防医療として、健診や予防接種にも力をいれていきます。今年も、新型コロナウイルスに対する予防接種にも協力しています。

本院の現在の常勤医師は7名です。入院病床は73床うち地域包括ケア病床32床です。CT、MRI、内視鏡、超音波、マンモグラフィなどの画像診断装置での診断もしています。要望に応じて緩和ケアも行います。

れたものと考えております。

地域に住むひとりひとりの幸福な豊かな人生(well-being※)によりそう地域医療・地域ケアを展開できる様、より一層努力を重ねていきたいと思ひます。住民の皆様の温かいご支援よろしくお願ひいたします。

※well-being・・・WHO設立の際に憲章に言及された言葉。肉体的・精神的・社会的な健康を意味する概念で、満足した生活を送れる幸福な状態。「多様な」「持続的な」という意味を含んでいる。



# ゆたあ〜と

発行  
小国公立病院  
0967-46-3111  
おぐに老人保健施設  
0967-46-6111  
訪問看護ステーション  
0967-46-6050

45号  
令和3年6月

小国公立病院  
HPアドレス  
<http://www.ogunihp.or.jp/bind/>



**3つの密**  
を  
避けましょう!!

≪ 密集 ≫



≪ 密接 ≫



≪ 密閉 ≫



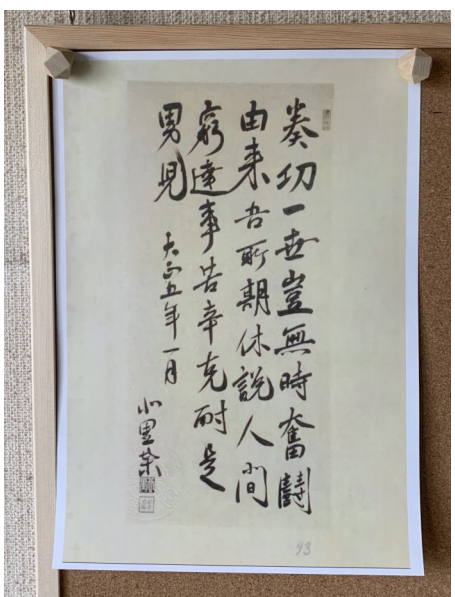


# シリーズ『柴三郎先生の薫り①』

病院事業管理者 片岡恵一郎

新型コロナウイルスにより感染症と社会との距離がこれまでになく近くなっています。時期を同じくして、我が小国郷の誇る北里柴三郎先生が千円札の肖像画に選ばれたのは、実は必然だったのかもしれない。

日本の“感染症の父”ともいえる柴三郎先生の大きな価値を、もっと町の医療に活かしていきたいと思ひ、今更ながら柴三郎先生に関する勉強を始めました。



もちろん本物でなくプリンターで印刷したコピーです(笑)。

なんとなく意味は伝わると思ひます。柴三郎先生は、この七言絶句を毎年書き初めに書かれていたと本に書いてありました。コロナ禍、自然災害、少子高齢化など様々な課題に対応していく必要がありますが、この七言絶句からのにじみ出る薫りを院長室に充滿させ、小国郷の医療を守っていききたいと思ひます。

この柴三郎先生の書、「北里柴三郎伝」という本を電子化したものをアマゾン(Amazon)で激安(298円)で購入し、巻頭の口絵から取ってきました。考えてみると、こんなに価値の高い資料が、わずか298円で手に入る様になったという時代の進

このシリーズ「北里柴三郎先生の薫り」では、浅学な小国郷の一医師が最近学んだ柴三郎先生に関する豆知識を披露していきたいと思ひます。恥ずかしながら、小国出身ではない私は「柴三郎道」全くの初心者なので、間違っているところは是非指摘下さい。

さて、4月より堀江先生と2人で使っている院長室の僕の目の前に貼ってある「柴三郎先生の書」があります。

奏功一世豈無時 一世の奏功 豈時に無く

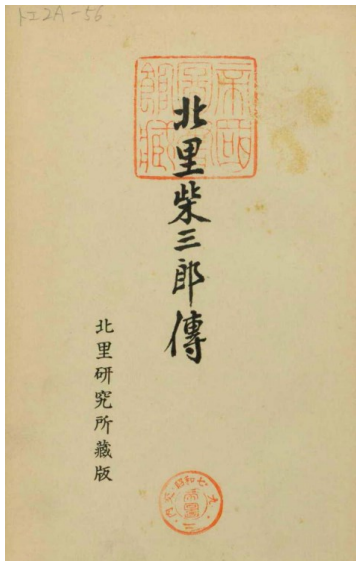
奮闘由来吾所期 奮闘の由来 吾が期する所

休説人間窮達事 説うを休めよ 人間 窮達の事

苦辛克耐是男児 苦辛克く耐う 是れ男児

化もすさまじいと思ひます。価値の高いものは所有するのではなく共有する、という時代の流れでしょう(ちなみに国立国会図書館からも、この本をダウンロードできるとのことです)。

柴三郎先生の価値、小国郷で共有していきたいと思ひます。お楽しみに。



Amazonで購入した電子書籍

## ～ 新医師紹介 ～



まつした いくお  
松下 郁雄 医師(消化器内科)

お久しぶりです。平成になった頃、内科として当院に2年位勤務していました。

その後は、消化器内科医として人吉、東京などで研鑽し、3月に熊本中央病院の消化器内科部長を最後に定年退職いたしました。

専門は消化管内視鏡で、お役に立てることがあればと、以前一緒に働き遊んでもらっていた坂本前院長に相談し、再度非常勤で仕事をすることになりました。

これまでの経験を生かして頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

## ～ 支援看護師紹介 ～



あなん のぞみ  
阿南 希 3階病棟看護師

4月から6ヶ月間、3階病棟で勤務させていただき阿南希と申します。熊本赤十字病院からまいりました。病棟の仕事の流れに1日も早く慣れ、地域医療について学んでいきたいと思ひます。

私生活に関しては、温泉が好きなので、小国生活の半年間で数多く巡ろうと思ひます。おすすめのお店や温泉があれば教えてください。短い間ですが、よろしくお願ひします。

## ～ 新職員紹介 ～



のなか あみ  
野中 愛海 3階病棟看護師

4月より3階病棟に勤務させて頂いています、新人看護師の野中愛海と申します。

学生時、コロナウイルスでまともな実習も行けなく、新卒が一人ということで、不安と緊張で気持ちがいっぱいですが、地域の皆様の為、先輩方にしっかり学ながら、のびのびと成長して生きていきたいと思ひます。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。



次号のゆたあ〜と新聞は、令和3年7月中旬に発行予定です。

お楽しみに〜

